

いぶり文化遺産
アイヌ文化



いぶり歴史遺産
縄文遺跡群



北海道
いぶり
五大遺産

未来につなげたい、胆振の宝物。

いぶり地形地質遺産

洞爺湖有珠山ジオパーク



いぶり産業遺産
炭鉄港



いぶり古代遺産
むかわ竜



未来につなげたい、胆振の宝物。

いぶり五大遺産

北海道の南西部・胆振地方には、世界的にも価値のある地域資源が揃っています。

北海道胆振総合振興局では、

「洞爺湖有珠山ジオパーク」「アイヌ文化」

「縄文遺跡群」「むかわ竜」「炭鉄港」を

【いぶり五大遺産】と位置付けて、

その価値や魅力を発信しています。



いぶり地形地質遺産
洞爺湖有珠山ジオパーク P03



いぶり歴史遺産
縄文遺跡群 P07

いぶり文化遺産
アイヌ文化 P05

いぶり産業遺産
炭鉄港 P11

いぶり古代遺産
むかわ竜 P09

A ~ O についてはp13・p14をご覧ください。



いぶり地形地質遺産

洞爺湖有珠山ジオパーク

洞爺湖有珠山ジオパークは、「変動する大地との共生」をテーマとするジオパーク*です。

洞爺湖を中心に、エリアは伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町からなり、その面積は約1,064平方キロに及びます。

2009年に世界ジオパークとして認められ、

2015年11月からはユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の正式な認定を受けた「ユネスコ世界ジオパーク」となっています。

※ジオパーク…生きていく地球と、生命のつながりを楽しく学べる貴重な場所。「地球・大地(Geo)」と「公園(Park)」を組み合わせる名付けられたもの。

噴火の爪痕をそのまま「災害遺構」に

洞爺湖は、今から約11万年前の巨大な噴火で生まれ、有珠山も約2万年前から噴火を繰り返して生まれました。有珠山は江戸時代以降、20～30年おきに噴火している活火山で、最近では2000年に噴火活動がありました。洞爺湖有珠山ジオパークの最大の特徴は、人々が活火山のすぐ近くで暮らし続けてきたということ。過去の噴火災害の記憶を風化させないために、噴火による被害を受けた建物や道路などを丸ごと「災害遺構」として保全し、見学できる散策路にしています。

火山との共生

この地域で人が暮らし続けていくためには、火山と共生する意識と噴火災害への備えが必要です。地域防災のリーダーとして活動するとともに地域の魅力発信に取り組む「洞爺湖有珠火山マイスター」や、火山をよく知り自然災害や防災にも詳しいガイドによるツアーも人気です。ダイナミックな風景も、豊富に湧き出る温泉も、海や大地の幸も、すべて火山の恵みです。それらを満喫しながら、地球そのものに思いをはせる……それが洞爺湖有珠山ジオパークの楽しみ方です。

情報リンク 洞爺湖有珠山ジオパーク

<https://www.toya-usu-geopark.org/>

おすすめスポット 洞爺湖ビジターセンター・火山科学館

住 洞爺湖町洞爺湖温泉142-5

電 0142-75-2555

時 9:00～17:00

休 12/31～1/3



車でのアクセス/
高速道路利用

- 札幌北ICから……約1時間50分
- 新千歳空港ICから……約1時間20分